

テンキー反応時間測定装置 取り扱い説明書

§ 1 : 概説

本装置は、数値表示装置に表示された数値を、テンキーから入力させ、正解値が入力されるまでの時間を測定する装置です。

注意事項：

- ・ 本装置は **Windows** 版でソフトウェアが作成されています。従いまして、本装置を操作する人は **Windows** の操作を熟知している事を条件とします。操作誤りでソフトウェアが動作しなくなった場合の普及は有償となります。
- ・ 本装置を立ち上げた際に、増設LCDの画面は走査速度のずれから乱れていて、異常な状態を表示しますが、正規なソフトウェアが立ち上がると正常な状態になります。
- ・ 本装置を立ち上げた際、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードは設定してありませんので、「ESC」で先に進んで下さい。

§ 2 : 機能概説

本装置は、乱数により発生させた数値を被験者に提示し、被験者が表示された数値をテンキーから入力するまでの時間を測定します。正解が入力されると、設定された時間の後の数値が表示され、験者が終了させるまで継続します。誤りが入力されると入力までの時間測定がされ、そのまま正解が入力されるまで表示は変化しません。

測定されたデータは、入力されたファイル情報と共にエクセルで読み出し可能なファイルとしてハードディスクに格納されます。

§ 3 : 仕様

2-1 : 数値表示方式	乱数発生方式
2-2 : 表示数値範囲	0 ~ 9
2-3 : 数値表示色	任意設定可能
2-4 : 背景色	任意設定可能
2-5 : フォント	任意設定可能

2-6：表示大きさ	最大3 cm×3 cm 迄任意設定可能
2-7：反応時間測定単位	1 m秒
2-8：正解後の待ち時間	0～9秒 任意設定
2-9：ファイル情報	被試験者，被験者ID番号、験者、 正解後の待ち時間
2-10：操作項目	開始、停止、確定、終了
2-11：記録データの保存	エクセルで読み込める形式にて保存 保存名：ID番号+日付

§ 4：使用方法

4-1：接続

パソコンに電源、テンキーボード、増設LCD表示装置を接続して下さい。

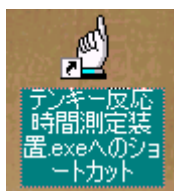
接続する場所はパソコンの背面にそれぞれ表示されていますし、所定のコネクタ以外は接続出来ませんので間違える事は無いと思います。

4-2：起動

初期設定は自動的に本ソフトウェアが立ち上がります。時間を少々要しますので、立ち上がるまでお待ち下さい。

自動立ち上げを解除した時、又は一旦終了した後で再度立ち上げる際には

①デスクトップ上のアイコンをクリックして下さい。



②ウィンドウズ左下の“スタート”→“プログラム”から選択して下さい。

のいずれかの方法でプログラムを起動します。

4-3：操作画面

ソフトウェアが立ち上がると図1に示します計測画面が表示されます。



図1：計測画面

この計測画面上で被験者情報の入力を行います。

最初に、被験者名、ID、験者名を入力しインターバル時間（0.1秒～9秒）をドロップダウンリストより選択します。験者名、インターバル時間はプログラムを終了しても保存されます。

被験者情報の入力終了したら計測を開始するため、「操作」のボタンをクリックして下さい。

○ 測定開始

被験者情報の入力完了したら、「開始」ボタンをクリックし測定を開始します。

- 測定終了
測定中に“停止”ボタンをクリックまたは、キーボード上の“Q”を押して計測を終了します。

- 終了
“終了”ボタンをクリックするか、ウィンドウ右上の×をクリックしプログラムを終了します。ただし、測定中は有効ではありませんので、いったん測定を終了したのちおこなってください。

4-4：データの保存

測定が終了すると、設定されている保存フォルダーに自動的にデータが保存されます。ファイル名は「ID 計測時間 “.csv”」の形式で保存されます。

例 ID：123AB 計測時間：2000年10月8日13時32分

の場合ファイル名は

123AB0010081312.csv になります。

保存されたデータは、エクセル等で操作できます。

4-5：表示内容の設定

図2に示す設定画面にて、表示する数値に対しての諸条件を設定します。

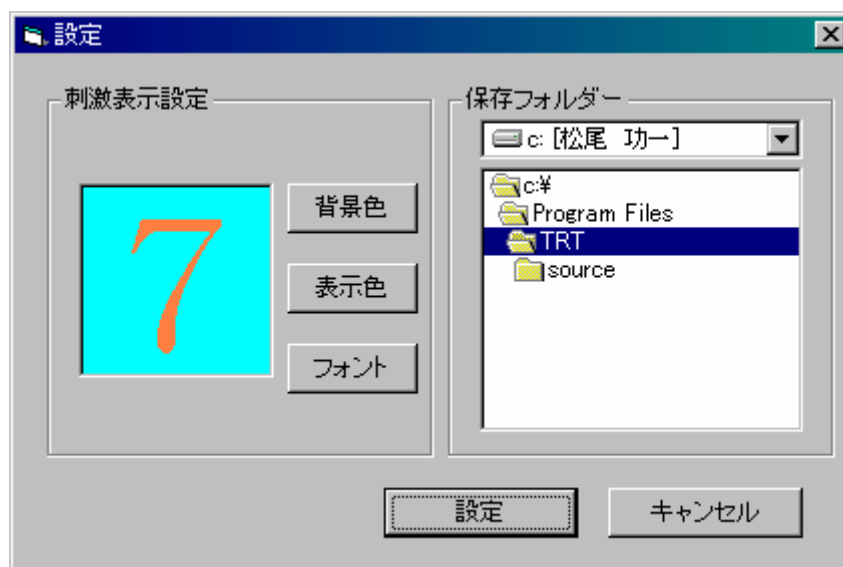


図2：設定画面

“設定”ボタンをクリックし設定画面を開き、次の各環境を設定します。

- 刺激表示設定
“背景色” “表示色” “フォント” をクリックし被験者に表示する文字のフォント、色を設定します。
- 保存フォルダー
データを保存するフォルダーを選択し設定します。